

安芸太田町商工会(経営発達支援事業)経済動向調査 (2024年4月～6月期)

1) 今期の状況～先行き見通し

(単位:ポイント)

項目別DI値(※)	安芸太田町2024夏期															
	全国(6月)		全産業計		製造業		建設業		卸小売業		飲食・宿泊業		理美容・クリーニング業		その他の業種	
	前年比	見通し	前年比	見通し	前年比	見通し	前年比	見通し	前年比	見通し	前年比	見通し	前年比	見通し	前年比	見通し
売上・収入 総額	1.6	△ 4.6	△ 26.3	△ 17.9	12.5	0.0	△ 27.3	△ 27.3	△ 28.6	△ 28.6	0.0	0.0	△ 66.7	△ 66.7	△ 43.8	△ 6.3
売上・受注 客単価	34.1	22.4	△ 20.0	△ 11.1	25.0	12.5	△ 54.5	△ 36.4	△ 15.4	△ 23.1	△ 20.0	△ 25.0	0.0	0.0	△ 25.0	6.3
受注数・来客数	—	—	△ 40.4	△ 26.8	△ 12.5	△ 25.0	△ 45.5	△ 27.3	△ 50.0	△ 42.9	△ 20.0	0.0	△ 66.7	△ 66.7	△ 43.8	△ 12.5
資金繰り	△ 10.1	△ 11.7	△ 22.2	△ 18.5	△ 12.5	△ 12.5	△ 27.3	△ 36.4	△ 15.4	0.0	△ 40.0	△ 25.0	0.0	0.0	△ 28.6	△ 28.6
材料・商品仕入単価	△ 68.5	△ 55.6	48.1	45.1	71.4	71.4	66.7	66.7	42.9	14.3	75.0	100.0	0.0	0.0	25.0	41.7
材料・商品在庫数	—	—	△ 7.7	△ 2.0	0.0	14.3	△ 18.2	△ 9.1	△ 7.1	△ 14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	△ 7.7	8.3
採算性・収益性	△ 12.9	△ 13.3	△ 42.9	△ 30.9	△ 25.0	△ 12.5	△ 54.5	△ 45.5	△ 50.0	△ 50.0	△ 20.0	0.0	△ 66.7	△ 66.7	△ 40.0	△ 13.3
従業員数(臨時含む)	21.3	22.5	△ 29.4	△ 32.7	△ 62.5	△ 62.5	△ 30.0	△ 40.0	△ 16.7	△ 18.2	△ 25.0	△ 33.3	0.0	0.0	△ 28.6	△ 28.6
【総合景況感】	△ 11.4	△ 13.4	△ 39.2	△ 27.5	△ 25.0	0.0	△ 60.0	△ 50.0	△ 36.4	△ 38.5	△ 50.0	△ 33.3	△ 66.7	△ 66.7	△ 26.7	△ 7.1

調査対象 258 事業所 : 回答 59 事業所

※DI(ディフュージョンインデックス)値とは	ゼロを基準として、プラスの値は「景気の上向き傾向(良い)」回答割合が多いことを示し、マイナスの値は「景気の下向き傾向(悪い)」回答割合が多いことを示す。 各項目の判断状況を示すが、「景況感」であり「実数値を表す数値」ではない点に留意。 DI値=(増加・好転など「良い」回答割合) - (減少・悪化など「悪い」回答割合)
------------------------	--

2) 設備投資状況・設備投資の見込み

設備投資	全産業計		製造業		建設業		卸小売業		飲食・宿泊業		理美容・クリーニング業		その他の業種	
	直近(n=58)	向こう(n=54)	直近(n=8)	向こう(n=7)	直近(n=12)	向こう(n=11)	直近(n=14)	向こう(n=13)	直近(n=5)	向こう(n=4)	直近(n=3)	向こう(n=3)	直近(n=16)	向こう(n=16)
実施していない	20.7%	16.7%	37.5%	42.9%	33.3%	9.1%	0.0%	0.0%	20.0%	25.0%	33.3%	33.3%	18.8%	18.8%
実施している	79.3%	83.3%	62.5%	57.1%	66.7%	90.9%	100.0%	100.0%	80.0%	75.0%	66.7%	66.7%	81.3%	81.3%
土地	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
工場・店舗・建物	1件	1件	-	1件	1件	-	-	-	-	-	-	-	-	-
機械・工具・器具	4件	8件	3件	3件	-	1件	-	-	-	1件	-	1件	1件	2件
車両・運搬具	6件	4件	1件	1件	3件	-	-	-	1件	-	1件	-	-	3件
付帯施設	1件	-	-	-	1件	-	-	-	-	-	-	-	-	-
OA機器・レジ	2件	3件	1件	1件	1件	-	-	-	-	-	-	-	-	2件
福利厚生施設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	1件	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1件	-

※複数回答・無回答あり
 ※直近3ヵ月を「直近」、向こう3ヵ月(見込み)を「向こう」と記載

3) 経営上の課題・問題点

ポイント数	課題・問題点
16.9	原材料価格の上昇
13.5	従業員の確保難
12.4	需要の停滞
7.9	材料・人件費以外の経費
6.4	販売単価の低下・上昇難
5.6	人件費の増加
5.2	生産設備の不足・老朽化
5.2	熟練技術者の確保難
4.1	取引条件の悪化
3.4	大企業の進出による競合

【課題・問題点のポイント計算方式】
重要度「1」として回答された場合「3ポイント」
重要度「2」として回答された場合「2ポイント」
重要度「3」として回答された場合「1ポイント」
として算出し、合計数を総ポイント数で割る。
ポイント上位10項目までを掲載。
※「その他」「特になし」はランキング除外

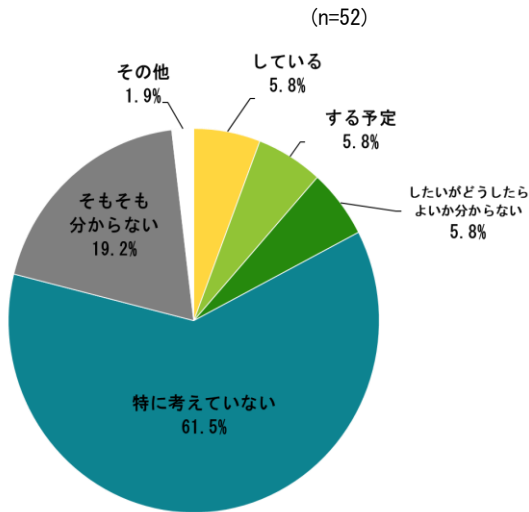
以下、業況の変化や業界の動向に関する事業所からのご意見

製造業	「高齢化と人材不足」「中国市場における経済変化、競争の激化、競合他社の乱立」「ガソリンの高騰」「設備の老朽化が不安」「人口減による売上減少」
建設業	「賃金は変わらないのに物価が高騰しているため、売上が低下」「ハローワーク、インディード、リクルートへ募集を出しているが、人材派遣の会社からばかりTELがある」
卸売・小売業	「人口減」「住民の減少」「産直である商品が入荷不足。農業を行う人が少なくなっている」
飲食・宿泊業	「光熱費の高騰により利益が出ない」
理美容・クリーニング業	-
その他の業種	「人口減少、行政サービス過剰」「赤字からの脱却」「同業他社が少なく当社は向上すると考えられる」「人が減っている。帰ってこない若者が増えた。空き家が増え基本料金すら取れなくなる」

4-1) 事業継続計画 (BCP) は策定していますか。

BCPとは災害などの緊急事態における企業や団体の事業継続計画 (Business Continuity Planning) のことです。このBCPの目的は自然災害やテロ、システム障害など危機的な状況に遭遇した時に損害を最小限に抑え、重要な業務を継続し早期復旧を図ることにあります。

【全体】



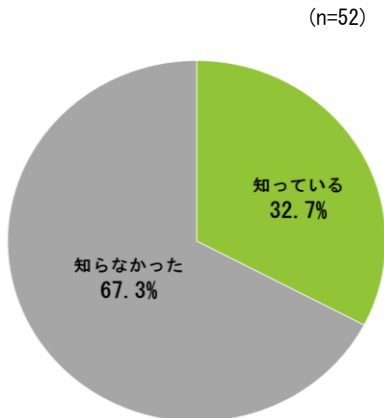
【業種別】

(単位: %)

項目	している	する予定	どうしたいが分からない	特に考えていない	そもそも分からない	その他
製造業 (n=7)	14.3	28.6	0.0	14.3	42.9	0.0
建設業 (n=11)	9.1	0.0	0.0	81.8	9.1	0.0
卸小売業 (n=11)	0	0.0	0.0	81.8	18.2	0.0
飲食・宿泊業 (n=6)	0	16.7	0.0	66.7	16.7	0.0
理美容・クリーニング業 (n=3)	0	0.0	33.3	0.0	66.7	0.0
その他の業種 (n=14)	7.1	0.0	14.3	64.3	7.1	7.1

4-2) 商工会で事業継続計画の策定支援をしていることはご存知ですか？

【全体】



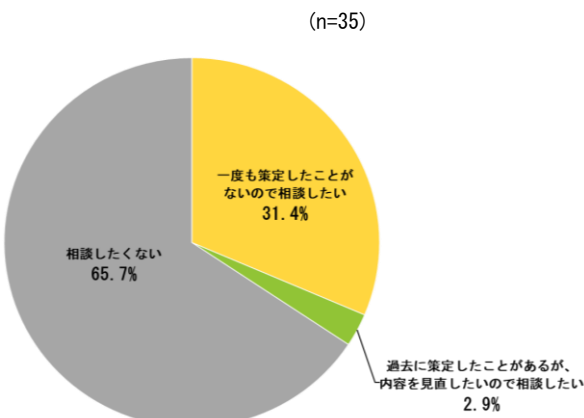
【業種別】

(単位: %)

項目	知っている	知らなかった
製造業 (n=7)	42.9	57.1
建設業 (n=12)	25.0	75.0
卸小売業 (n=11)	36.4	63.6
飲食・宿泊業 (n=5)	20.0	80.0
理美容・クリーニング業 (n=3)	66.7	33.3
その他の業種 (n=14)	28.6	71.4

4-3) 商工会に事業継続計画の策定支援を相談したいですか？

【全体】



【業種別】

(単位: %)

項目	一度も策定したことがないので相談したい	過去に策定したことがあるが、内容を見直したいので相談したい	相談したくない
製造業 (n=6)	16.7	16.7	66.7
建設業 (n=8)	12.5	0.0	87.5
卸小売業 (n=8)	12.5	0.0	87.5
飲食・宿泊業 (n=3)	33.3	0.0	66.7
理美容・クリーニング業 (n=2)	100.0	0.0	0.0
その他の業種 (n=8)	62.5	0.0	37.5